

第38回国公立大学病院集中治療部協議会 議事要旨

日 時：令和5年1月27日（金）13：00～16：40

会 場：ホテルグランヴィア広島（4階 悠久）

出席者：別紙「出席者名簿」のとおり

≪当番大学挨拶≫

当番校の広島大学病院 安達副病院長より挨拶があった。

≪文部科学省講演「大学病院を取り巻く諸課題について」≫

文部科学省 高等教育局 医学教育課 大学病院支援室 竹本室長補佐から、「大学病院を取り巻く諸課題について」と題した講演があり、その後質疑応答があった。

≪議長選出≫

広島大学病院 総務グループ 小左古グループリーダーから、本協議会規約により当番大学の集中治療部長が行う旨説明があり、広島大学病院 集中治療部 志馬部長が議長に選出された。

≪看護師長会報告≫

広島大学病院 ICU 林看護師長から、集中治療室の管理運営の共有及び問題解決の示唆を得ることを目的に実施された基礎調査の結果が報告された。

また、午前中に開催された看護師長会のグループディスカッションについて、特定行為研修修了者の活用を行い、医師から看護師へのタスクシフト・タスクシェアを進めていく旨報告があった。

≪パネルディスカッション≫

『集中治療室、集中治療科と集中治療教育』のタイトルで、重要なテーマ4つに関して、パネリスト4名から発表があり、その後、質疑応答及び意見交換を行った。

- (1) 浜松医科大学医学部附属病院 集中治療部 土井部長から、「集中治療部設置のための指針 2022年改訂版」の「推奨」を参照し、本協議会構成病院の現状を確認した結果、医療スタッフ配置はおおむね充足、総床面積はやや低く今後の課題であるなどの達成度について報告があった。
- (2) 弘前大学医学部附属病院 集中治療部 橋場副部長から、日本集中治療医学会の公式データベースであるJIPADについて、「医療の質の向上」と「集中治療医学の発展」を目的としており、年次レポートの作成、標準化ICU在院日数比の算出などができ、登録施設が増えればより意義が大きくなるとの紹介があった。
- (3) 大阪大学医学部附属病院 集中治療部 内山副部長より、COVID-19対応として、大阪府・大阪市の状況、大阪大学の治療体制について説明があった。
また、各都道府県別に人口あたりのICUベッド数または集中治療専門医数と

COVID-19 累計死者数との関係を分析した結果の報告があり、COVID-19 重症患者の治療成績に ICU ベッドと ICU 専門医の確保の度合いが関わっている可能性が示唆され、今後の感染症パンデミックに備え各地域での ICU ベッドと ICU 専門医の確保の必要性を考える必要があるとの考察があった。

- (4) 岡山大学病院 集中治療部 森松部長から、集中治療科と集中治療教育に関して、厚労省通知（令和 4 年 10 月 4 日）により集中診療科が認められたが、国公立大学に集中治療医学講座は殆ど置かれていない現状について説明があり、医学教育モデル・コア・カリキュラムを考える WG を作る必要性について提案があった。

≪協議事項≫

- (1) 医学教育モデル・コア・カリキュラム策定に関わる WG 設置について

志馬議長から、学生教育における集中治療について充実を図るため、医学教育モデル・コア・カリキュラム策定に関わる WG を本協議会に設置することについて提案があり、岡山大学病院 集中治療部 森松部長を座長とする WG 員 10 名の構成で開始することについて承認された。

- (2) 次々期当番大学（第 40 回）の選出

志馬議長から、次々期当番大学について岡山大学が提案され、承認された。

≪報告事項≫

- (1) 次期（第 39 回）当番校挨拶

志馬議長から、第 39 回全国国公立大学病院集中治療部協議会及び看護師長会は鹿児島大学病院が当番校となる旨報告があり、鹿児島大学病院 集中治療部 垣花部長より挨拶があった。開催日は 2024 年 1 月 26 日（金）、会場は城山ホテル鹿児島で予定されている旨報告された。

- (2) 事務局より

大阪大学医学部附属病院 集中治療部 内山副部長から、本協議会の年会費を含む収支について説明があった。本日設置が承認された WG や JIPAD に関する解析等の活動があれば積極的に活用していただきたい旨報告があった。

以上